

マドンナリフト 最新情報



※マドンナリフト：商標登録済

2012年4月12日、第55回日本形成外科学・学術総会（ホテルニューオータニ）において、DEKA社共催ランチョンセミナーが開催されました。たくさんの先生方にご参加いただき、立ち見が出るほどの大盛況ぶりで、最新施術法「マドンナリフト」への関心の高さがうかがえるセミナーとなりました。今回のセミナーでは、河野太郎先生（東京女子医科大学）に司会進行いただき、DEKA社CO₂フラクショナルレーザーをテーマとした内容で、2名の先生方に、基礎学術から臨床にいたるまで幅広い内容のご講演をいただきました。

講演1: 林原 伸治 先生（林原医院）

「SmartXIDE DOT の理論と組織学的検証に基づく臨床応用」

スマートサイドドットのメカニズムや照射後の組織学的変化を継続的に観察した結果のご説明では、フラクショナルレーザー照射後の皮膚組織変化がとてもわかりやすく解説されていました。また、治療目的、肌質に応じて、様々なパラメータを細かく設定することで幅広い適応がある利点を活用し、皮膚外科治療から癒痕、アクネスカー、美肌、毛穴、マドンナリフトに至るまで、幅広い適応症例に活用されており、数多くの有効な臨床データをご提示いただきました。

また、数機種のCO₂フラクショナルレーザーの皮膚収縮比較検証データは、マドンナリフトの皮膚収縮力の高さを裏付ける印象的な発表でした。



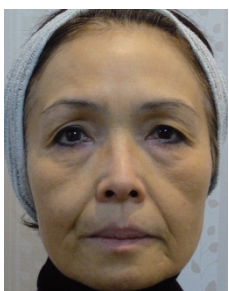
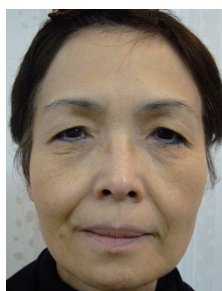
講演2: 河田 真作 先生（河田外科形成外科）

「CO₂フラクショナルレーザーによるリジュビネーション治療 ：マドンナリフトを中心として」

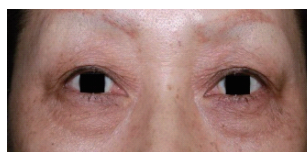
上眼瞼挙上術「マドンナリフト」の具体的な施術方法、効果を出すためのテクニックや、実際の症例結果をご提示いただきながらその臨床効果についてご講演いただきました。

施術効果のみならず、治療に伴うリスクに関しても、実験データをお示しいただくなど、施術に伴う効果とリスクについて大変わかりやすいご説明をしていただきました。特にフラクショナルレーザー治療に伴うPIHリスクを検証した実験結果に基づき、施術パラメータ設定を工夫しているお話はとても印象的でした。

※ご講演でご紹介された症例の一部です



写真提供：林原伸治先生



写真提供：河田真作先生

共催ランチョンセミナーの記録ビデオをご用意しております。ご希望の際は、DEKA JAPANにご連絡ください。